

東海自然歩道

「金閣寺～玄琢～嵐山～花の寺」

(報告) H 口

【期日】 2017年11月17日(金)～19日(日)

【メンバー】 H 口 (L)、S 藤 (み)、H 口家内： 以上3名

今年最後の東海自然歩道は、前回歩けなかった「鞍馬～玄琢」区間は再チャレンジしないことにし、また、初日の愛宕山登山は金閣寺から源光庵までの平地歩きに変更して実施しました。

11/17 晴れ。未明に自宅を出た初日から電車とバスを乗り継いで愛宕山に登るのは少々辛いので、金閣寺から源光庵まで平地を歩くコースに計画を変更しました。京都駅前からバスに乗って千本今出川バス停で降り、まずは千本釈迦堂(大法恩寺)へ。国宝の本堂、快慶・定慶の仏像群や「おかめ」を拝観。名物行事「大根焚き」は12月7日、8日開催との案内が出ていました。続いて北野天満宮へ。静かだった千本釈迦堂とは違って、こちらは観光客が多く七五三参りのご家族もチラホラ。紅葉は見頃の少し前といった感じでした。北野天満宮の次は金閣寺。その前に、ちょうどお昼時だったので金閣寺近くの「花巻屋」で小生は「ニシンそばセット」と地酒を少々。女性は「天井セット」、「吹寄そば」を注文されました。

金閣寺はさすがに人気のスポットで平日でも国内外の観光客で一杯です。しかし、境内が広いこともあってゆっくり拝観することができ、境内でしか買えないお目当ての茶菓子(「金閣」、秋限定「きなこ餅」)も購入しました。金閣寺拝観のあとは門前から鏡石通を北に向かって源光庵へ。鏡石通でも紅葉を十分楽しむことができ穴場スポットかも知れません。鏡石通と東海自然歩道の分岐から源光庵へは怖いくらい急な傾斜の坂道を登ります。車も結構通りますが、車での上り下りも相当怖いだろうな、と思います。源光庵の紅葉も見頃の少し前といった感じでしたが、「悟りの窓」と「迷いの窓」からのグラデーションのモミジも十分ビューティフルでした。本日はここまでとし、バスと地下鉄で京都駅に戻り西本願寺前の「旅館あづまや」にチェックイン。夕食は京都駅前の居酒屋「いろはかるた」にしました。

11/18 雨のち曇り。西本願寺の鐘で5時半に起床。天気予報通り朝から雨。今回のメインのコースなので中止してしまうと何のために来たのかということになってしまうので、宿でしっかりと雨の対策をして出発。朝食は京都駅前の「小川珈琲」でモーニングセットにしました。京都駅から地下鉄で北大路バスターミナルへ行き、京都市バスで源光庵前へ。鏡石通との分岐への急坂は下りの方が怖くて、しかも雨で濡れているので転ばないように緊張しました。紙屋川に沿って舗装道路を歩き、京都一周トレイルと合流して山道の分水嶺を越え、沢ノ池からの菩提川に出会うと再び舗装道路になって菩提ノ滝へとなります。菩提ノ滝は道路沿いに滝の落ち口があり、道路を更に下ったところに滝の全景が見られる散策路への入口がありますが、我々は滝の落ち口と道路沿いの雌滝のみ見て通過。中川に着くと、交通量の多い国道162号を高雄まで歩くこととなります。国道に出会ってすぐのトンネルには入らず車両通行止めの旧道を歩きますが、それ以外は歩道の無い山間部の国道を傘を差して歩く

ことになり、とつても危険な区間でした。が、危ない思いをして歩いてきた高雄の紅葉は最高でした。

高雄に着くと雨は止んできましたが一段と冷え込んできました。まずは駐車場前の湯豆腐に入り腹ごしらえ。湯豆腐だと時間がかかり飲みたくもなるので、小生は「天ぷらそば」、女性お二人は「天ぷらうどん」で体を温めて高山寺へ。実は、小生はすっかり忘れていて高山寺をスルーするつもりだったのですが、「紅葉が綺麗な高雄にせっかく来たんだから、お寺にも寄りたい。」というご要望に救われ、国宝「鳥獣人物戯画」の本物を拝観することができました。今にも動き出しそうなカエルやウサギ達。実物は筆使いや墨の濃淡がよく分かり、ほんとうに躍動的でした。国宝石水院では庭の紅葉だけでなく、北山杉と紅葉のコントラストが美しい遠景の山々も眺めることができました。

高雄から清滝までは溪流と紅葉が美しい清滝川沿いの散策路を歩きます。清滝から先も散策路は少し続き、最後はお馴染みの観光地（二尊院、竹林の小径）となるので、もう十分だよ、ということで清滝から嵐山（渡月橋北詰）まではバスを利用しました。紅葉シーズンの土曜日ということで嵐山は観光客で溢れかえっていました。この日は渡月橋は渡らず、JR 嵯峨嵐山駅まで観光客に混じってお土産を買ったりしながらそぞろ歩きし、駅近くの「鶴屋長生（ちょうせい）」で抹茶と「生麩まんじゅう」を頂いてから京都駅に戻りました。夕食は居酒屋の「笑笑」にしました。

11/19 晴れのち曇り。この日の朝も西本願寺の鐘で 5 時半に起床。宿をチェックアウトして外に出ると寒いなの。昨日と同じく小川珈琲で朝食を摂り、JR 京都駅構内のコインロッカーに余分な荷物をデポして嵐山へ。未だ店はどこも開いていませんでしたが既に多くの観光客がいて嵐山を散策していました。我々は渡月橋を渡って桂川沿いを指路票に従い進み、まずは松尾大社で着物姿の七五三参りの子供と共に本殿でお参りをして、狭い路地を鈴虫寺へ。鈴虫寺に着くと朝 9 時を少し回ったところなのに既に長い行列ができていました。大半が若い女性です。列に並んで住職の講話を聴いたところで我々が今さら改心するとは思えないので次の苔寺へ。苔寺は決まった時間に事前予約の人しか入れないので文字どおりの門前払い。次の竹の寺へ。竹の寺（地蔵院）は、その名の通り竹林に囲まれた静かなお寺でした。方丈の仏間に展示されている細川護熙元首相の襖絵を鑑賞したり、縁側で紅葉と苔の庭園を眺めたりしてゆっくりとしてきました。竹の寺を出て路地が入り組んだ住宅地から竹林に入り、竹林を登って今度はキレイに区画整備された住宅地に出ます。沓掛という所で国道 9 号（山陰道）を渡って広い府道を南下。このあたりで急に雲が厚くなり少し雨に降られましたが、府道の東側は広大な柿畑で出荷時期を迎えた柿がたわわに実っていてなかなかの壮観でした。広い府道の突き当りの丁字路は右折し、少し山に向かって歩くと花の寺（勝持寺）に到着。旅の最後に美しい庭園が待っていました。思い思い境内の紅葉の風景を撮りまくり秋を堪能しました。

花の寺から山を下り金蔵寺と南春日町バス停への分岐で今回の東海自然歩道は終了。分岐から 200m ほど歩いた吹きっ曝しのバス停で寒さに震えながら 1 時間に 1 本のバスを待ち京都駅に戻りました。

今回も中日は雨に降られましたが、ほぼ予定通り京都の紅葉の名所を巡ることができて大感動、みんな大満足でした。気候が不安定だったためか、同じ場所でも紅葉の進み具合にバラツキがあって全体的には 2~3 日早めだったかも知れません。しかし、紅葉し始めのグラデーションのモミジが混じっているのも、それはそれでとても綺麗でした。

次回はいよいよ東海自然歩道の最終回。新緑の箕面です。

- 11/17 京都駅バス停 9:30=10:00 千本今出川バス停-10:05 千本釈迦堂（参拝）-10:50 北野天満宮（参拝）
 -11:30 花巻屋（昼食）-12:05 金閣寺（参拝）-12:50 鏡石通-13:35 源光庵
 -源光庵前バス停 14:33（バス）=北大路駅（地下鉄）=京都駅-15:30 旅荘あづまや（宿泊）
- 11/18 京都駅 7:43（地下鉄）=北大路 8:15（バス）=源光庵前バス停 8:30-9:55 菩提ノ滝-10:30 中川
 -11:30 高雄（昼食）12:00-高山寺（参拝）12:50-14:00 清滝 14:33（バス）=14:55 渡月橋（散策）
 15:45-JR 嵯峨嵐山駅 16:02（JR 福知山線）=16:19JR 京都駅 旅荘あづまや（宿泊）
- 11/19 JR 京都駅 7:35=7:47 JR 嵯峨嵐山駅 7:55-8:05 渡月橋-8:40 松尾大社（参拝）9:00-9:10 鈴虫寺
 -9:20 苔寺-9:30 竹の寺（参拝）10:00-11:35 沓掛-12:15 花の寺（参拝）13:00
 -13:25 南春日町バス停 14:03（バス）=JR 向日町駅 14:42（JR 京都線）=14:49 京都駅（解散）



国宝千本釈迦堂本堂の内部



金閣寺



源光庵



高雄・高山寺の国宝石水院からの眺め



清滝



嵐山



鈴虫寺の入口



竹の寺



花の寺



花の寺にて